

103万円の壁等で論戦を予定

12月議会 日本共産党議員団の一般質問

上野公悦議員 18番目-12月13日(金)午後の予定

1. 103万円の壁問題について

石破内閣が進めようとしている「103万円の壁」は、所得税が非課税となる収入の限度額を引き上げるもので、一定の減税となる面があります。しかし一方で、地方自治体にとっては税収が大きく減るとい面もあります。そこで、上野議員はその影響をどう考えているか、市民サービスの低下にならないようにどうするかなどをたずねます。

なお、日本共産党は、所得税の非課税限度額は、国民の生活の実態に合わせて103万円よりももっと引き上げること、その分の地方自治体の税収の減少分は地方交付税を大きく引き上げて国の責任で補てんすること、その財源は法人税の引き上げや富裕層の課税でまかなうことなどを提案しています。

2. マイナ保険証について

12月2日から、従来の紙の保険証は発行されなくなりました。しかし、保険証に代わる「資格証明書」が今まで通り発行され、従来の保険証と同じように使えます。一方、マイナ保険証は、マイナンバーカードに保険証の機能を追加して、同時に従来の保険証をなくすことで、国民に無理矢理マイナンバーカードを持たせようという狙いがあります。

政府は「マイナ保険証は便利に使えます」等とさかんに宣伝しています。しかし、中には他人のデータと紐付けされるなどの重大な事故があったり、医療機関の窓口で手間がかかってかえって不便だと指摘されたりと、便利とは言えない実態があります。そのことを反映して、マイナ保険証を使っている人の割合も1割程度にとどまっています。

上野議員は、こうしたことを指摘しながら市内での実態をたずね、同時に具体的な対策を提案します。

平良木哲也議員 23番目-12月16日(月)午後の予定

1. 柏崎刈羽原発の再稼働を巡る問題について

政府と東京電力は柏崎刈羽原発の再稼働に躍起になっています。そこで、原発に対する認識や、再稼働の判断をどのようにすべきかという点についての考え、東京電力との間の事前了解権に関する姿勢などをたずねます。

2. こどもプールについて

市内12カ所のこどもプールが、今年限りで運営終了となりました。そこで、その経緯や実態、地元住民との話し合いの経過をたずね、こどもプールに代わる自由に遊べる施設を造る必要があることなどをたずねます。

3. 性的少数者の支援等について

LGBTQ+など、性的少数者(セクシュアルマイノリティ)を支援するパレードが大きく成功したことを受けて、市長のとらえ方、支援のあり方などについてたずねます。

橋爪法一議員 24番目-12月16日(月)午後の予定

1. 柏崎刈羽原発と原子力防災計画などについて

元日の能登半島地震では、新潟県内でもあちこちで大きな被害が出ました。そこで、まず、もし柏崎刈羽原発が地震により被災したら住民の命と暮らしを守れるのか、市長の認識を訊きます。そして、地域防災計画や緊急時対応を含む避難計画について、今後、何を見直し、どう改善しようとしているのかをたずねます。

さらに、国による原子力災害対策指針の見直しに関して、その評価と今後の対応についてたずねます。

2. コウノトリに関するこれまでの取組と今後の方針について

国の特別天然記念物であるコウノトリが、兵庫県豊岡市や福井県越前市などからはるばる長い旅をして、ここ上越の吉川区を中心に市内各地に飛来しています。

橋爪議員は、このコウノトリを昼夜を置かず観察してその様子を発信するなど、文字通り市内におけるコウノトリ観察の第一人者となっています。

しかし、こうした観察や記録を個人の善意に頼っているようでは、市としての天然記念物の扱い方に問題があります。

そこで、橋爪議員は、市として今年、コウノトリに関して取り組んだ内容や経費、取組の評価などについてたずねます。また、来年度に向けてどういう対応をしていくのかについてたずねます。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.852 2024年12月8日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

コウノトリの撮影

